

禁 轉 載

論說、雜錄

ウイッテの宣言と豫定和約

モンロー主義を論ず

英米間漁業問題

白令海の漁業問題

白令海の米露協約

英露協約の外交文書

「カルチャス」號事件

世局大觀……西聲反響

法學博士 高橋 作 衛

テ、パチー

サウワタ王◎波斯灣に於ける英國艦隊◎波斯に於ける關稅規則◎亞比  
西尼亞と列強◎英國と尼加拉瓜◎西州濱洲内閣◎國際船主會議◎諸國若  
國旗の翻騰◎希臘首相の暗殺◎白國政府とアントワープの設計◎南亞  
ニーゲリヤの小船◎獨逸南亞利加の陸境◎澳洲とニューヘブリッヂ  
島◎米外交官の英米關係◎ベトナム中位の佛艦隊許◎西班牙内閣の  
更迭◎シキマン博士の時局觀◎希臘内閣の危機◎白國作裁協約◎ズー  
ルランドの將來◎合衆國と加太◎亞爾然丁に於ける暴動◎セブドン氏  
と海軍◎葡國と戰爭◎ワエネデウラの近況

研鑽資料

ボスニヤ、ヘルツェゴヴィナの國法上の地位

エミール、リング

國 際 法 雜 誌

第 四 卷 第 一 號

禁 轉 載

論說、雜錄

條約批准問答

捕獲法と藝術品

捕獲審檢所は平和克復と共に當然消滅すべきや

白耳義國際法學者ナイス氏

露國叛亂軍艦「グニヤーズボテムキン」

中立國船舶の擧沈

六博士の上奏

東京及び京都大學教授の抗議

世局大觀……西壁反響

北極探險隊の出發

防備

國の新内閣

於ける露國鐵道

喜望峯殖民地と外國人

フト問題の仲裁裁判

暗殺の陰謀

の新内閣

衝突

と通商

法學博士 寺 尾 亨

法學博士 松波仁二郎

法學士 遠藤源六

藤井實

ナイス

ホルランド

パリ

チー

高橋作衛撰

アトウエルプ港の

各國領事

澳洲共和

中央亞細亞に

公衆衛生會

モスケ

土帝

南亞細

西阿に於ける

佛

國 際 法 雜 誌

第四卷 第二號



論 說

ポーツマス講和會議の逸話 法學士 安達峯一郎  
敵國臣民の地位 法學博士 山田 三良

旅順開城の真相と遼東半島行政に関する實驗談  
法學士 篠田 治策

陣中に於ける國際法事務の一斑  
法學士 皆川 治廣

白令海の鰐魚漁獵問題 法學博士 秋山雅之介

雜 錄

俘虜に關する國際法規

モトアール、ロムベルグ原著  
法科大學生 山崎 二郎譯述

日露講和條約と日英同盟新條約に對するウエス  
トレーキ博士の批評

クリーン博士の日露講和條件評論

日韓新協約

韓國に關する勅令

# 國際法雜誌

第四卷 第四號

禁 轉 載

國際法雜誌

第四卷 第五號

論 說

在米中の日露戰爭國際法觀

會員男爵 金子堅太郎

不完全中立と局外中立

法學博士 中村進午

旅順開城の真相と遼東行政に關する實驗談

法學博士 篠田 治策

白令海の臘虎漁獵問題

法學博士 秋山雅之介

浮虜に關する國際法規

法科大學生 山崎次郎譯述

國際經濟會議

國際監獄會議

世界大觀

西壁反響

西壁反響

法學博士 高橋作衛撰

○日露講和條約に關する諸動○條約批准の諸動○日露講和條約○追加條款○陸海軍に關する諸動○新日清條約就附屬協約

禁 轉 載

# 國際法雜誌

論說、雜錄

從軍中經歷談

法學博士 有賀 長雄

戰爭と海上保險

法學博士 加藤 正治

公法の本質

法學博士 範 克彦

中立國領水内に於ける交戦國の軍艦地位を論ず

法學士 佐分利 貞男

俘虜に關する國際法規

エトアリス、ロムベルグ 著  
山崎 次郎 譯

日本捕獲審檢所に就て

國際海事會議

砂糖會議

世局大觀……西陲反響

法學博士 高橋作衛 撰

同拉比亞人の英船攻撃問題◎マダガスカル前女王◎オキタス河畔の露國  
人◎米國と菲律賓◎印度と波斯◎西部阿非加の境界決定◎英とブルガリ  
ヤとの通商條約◎瑞典新内閣の組織◎新ヘブリヂ島の戰爭◎關領東印  
度の紛擾◎智利新内閣◎大西洋新海峽電線の竣工◎ラブラドルの境界問  
題◎露國皇太后と芬蘭人◎亞細亞に於ける英露◎關國記者の獨逸追放◎  
阿富汗主と波斯◎白蘭兩國の接近◎ハミニア鐵道の開通◎南ニール  
リヤの小戰◎佛國とパタゴニア鐵道◎樺太島と東部西伯利亞◎マダガ  
スカル新總督◎ニューファウンドランドの漁業問題◎英露仲裁裁判條約  
◎葡領西印度利加の紛争◎佛露の關係◎ナンターに於ける英國對露遠  
征隊◎西班牙内閣◎獨逸殖民權

第四卷 第六號

禁 轉 載

國際法雜誌

論說、雜錄

全權大使の機能

朝鮮の實狀

保護國の内治に關する保護條約の研究

從軍經歷談

掠奪と徵發の法理

露國俘虜取扱規則

波羅的海白海會議

南阿弗利加給貨會議

世局大觀……西擊反響

○暹羅鐵道の擴張 ○馬來多島海 ○濠洲と鴉片貿易 ○菲律賓鐵道の賠償問題 ○關領印度の近況 ○英國と西歐 ○英とボルネオ ○錫蘭の繁盛 ○中央亞細亞鐵道 ○印度洋に於ける科學的研究 ○印度境上の不穩 ○土國と波斯 ○東部亞細亞に於ける英露の境界問題 ○ナンデー陸軍の進軍 ○暹羅 ○ラヂヤと列強 ○獨逸の降伏 ○羅國米兵 ○蘇丹政府と公衆國 ○土帝の暗殺陰謀 ○英領ギアナの紛擾 ○英國ルーマニア通商條約 ○ラブラドル探險隊の蹤跡不明 ○英國とブルカリアとの通商 ○關國の王位 ○關國と白國 ○金絲雀島に於ける獨逸領院 ○伯拉西爾の砂糖貿易 ○葡國新内閣 ○西班牙新内閣 ○希臘内閣 ○獨逸の外交

法學博士 高橋作衛撰

法學博士 寺尾 亨  
 會 員 匿 名 氏

法學博士 立 作太郎

法學博士 有賀 長雄

法學士 總川 新

山崎 次郎

研究資料

ボスニア、ヘルツェゴビナの國法上の地位を論ず

ドルトル エミール、リンド  
 法學士 三 濤 信 三 譯

第四卷 第七號

載 轉 禁

論說、雜錄

領事裁判權ある國に於ける商船船員の犯罪管轄權

法學士 松田 道一

人物及船舶の敵性に關する英佛主義

法學士 山内 四郎

公法の本質

法學博士 鏡 克彦

佛國の世襲政策

法學博士 高橋 作衛

何故に佛國はライン河を其の東境と爲さんぞ

朝鮮に關する公文

英欽條約(The Anglo-Cuban Treaty)

緬甸の發達

世局大觀

西壁反響

加拿多の漁權争

セレス島の紛争

ゴの革命

阿非利加に於ける英獨の境界決定

けるカニールス親王

人氏

員

境界

國際

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

法學博士 高橋 作衛撰

國際法雜誌

第四卷 第八號

禁 轉 載

論 說

日露戰爭中の野戰郵便

法學士 米田 奈良吉

黒木軍の戦利品に就て

第一軍法律顧問 法學士 加 福 豊次

戦時禁制品を輸送する船舶を拿捕し得る時期

法學士 遠 藤 源 六

戦時に於て船長の行爲か船主及貨主に及はず範圍

法學士 塘 才 次郎

雜 錄

●佐渡丸遭難の狀況

在露俘虜としての二箇年 法學士 矢野 亮一

●南阿船運會議

世局大觀……西聲反響 法學博士 高橋 作衛撰

●露國の對阿富汗斯坦政策 ●佛領太平洋洲に於ける貿易 ●北部ポルトガルの發達 ●佛國と露國の關係 ●露國と蒙古 ●高加索鐵道 ●亞比西尼亞と獨逸 ●ヘビヤス鐵道 ●古倫比亞大統領の死 ●セルビヤ政治家の處刑 ●公費に付せらるる太平洋島 ●關東東印度の紛争 ●ナンデ！遠征軍の敗北 ●印度境上の種族 ●獨逸西南非洲の紛争 ●波斯 ●土國と波斯 ●土國の近狀 ●英國 ●アムニヤ通商條約 ●白國と獨逸 ●佛露通商條約 ●英國と土國 ●波蘭大臣の就任 ●白美新通商條約 ●伊黎の開發 ●清國と露國 ●阿拉斯加之邊境と日本 ●南阿の有名人問題 ●スカンヂナビヤの平和 ●漢露通商條約 ●獨逸練習船の捕獲 ●新歐洲貫通鐵道 ●伊國新内閣 ●埃及事件

國 際 法 雜 誌

第四卷 第九號

禁轉載

論說

樺太の漁業問題に關する研究

法學博士 高橋 作衛

相續及遺言に關する海牙條約僭評

山口 弘一

佛國の世襲政策

加福 豊次

雜錄

第二平和會議々題

萬國々際法學會本年議題

萬國々際法協會本年議題

在露俘虜としての二箇年

アントウエルブ港

ベルチスタン

世局大觀……西聲反響

法學博士 高橋 作衛撰

公文  
日米開著作權保護に關する條約◎同條約第三條の解除◎樺太島漁業假規

國際法雜誌

第四卷 第十號